



さん さん 燦 燦

佐世保市立清水中学校
学校だより23号
令和8年 3月 6日
校長 榑尾 吉嗣

学校教育目標：「明るく、自ら求めて伸びる生徒の育成」

校訓：凜と在れ

生徒会スローガン：「昇華」～日本一の学校～

いよいよ締めくくりの3月です（去る三月）

新年に入って学校だよりの毎号で使っている『一月往ぬる 二月逃げる 三月去る』ですが、いよいよ最後の『去る』3月に入りました。言うまでもなくその年度の締めくくりの月でもあり、別れの季節でもあります。この時期は、1日の中でも朝晩と日中において寒暖の差が大きい日があります。気温に応じた洋服の着脱や暖房器具の使用で体調管理には万全を期したいものです。

月が替わりましたので、机上のカレンダーも1枚めくりましたが、その図柄からも季節の移り変わりを感じます。時間は刻一刻と過ぎていきます。令和7年度をしっかりと振り返り、今の学年、学級、それぞれの役割における締めくくりを行いましょ。そこから令和8年度に向けた課題、目標が見つかり準備も始めていけると思います。前向きな3月にしていましょ！



(机上のカレンダーより)

3月に入り、卒業式に向けて式歌の練習が始まりました。在校生は、3年生が胸を張って巣立っていけるよう送り出す側も万全の準備に取り掛かっております。義務教育を終える3年生の晴れの舞台であるとともに、安心して後を託していける姿を見せるのも在校生の務めです。全校生徒がそれぞれの思いで参加し、思いを交わせる式になればと願っています。残り数日も一分一秒を大切に！！



(在校生式歌練習)

巣立つ者、送る者への思い

3年生の皆さん、卒業までのあと数日、特別なことをする必要はありません。日常の当たり前を当たり前になし「これが最上級生だ！」「3年間の成長の証だ！」を後輩たちの目に焼き付けさせてください。「後ろ姿」で語り、伝えてください。きっと後輩たちはしっかりとそれを受け継いでいきます。毎年のその繰り返しこそが『伝統』です。これまでの『伝統』に新たな1ページを加えてください。

この先、義務教育の9年間が終わりそれぞれの道を歩みます。どれが正解、間違いはありません。大人に一歩近づくことでこれまで以上に自分自身で考え判断することが増えるでしょう。また、責任も増していくでしょう。どうぞ一生懸命考えてください。一生懸命悩んでください。でもその後は、顔を上げて前をしっかりと見つめて歩き続けてください。決して平坦な道ばかりではないけれど、力強く踏みしめて歩く皆さんの前途に幸多かれと祈ります。

1、2年生の皆さんは、3年生の姿をしっかりと目に焼き付けておいてください。「次は自分たちが！」の思いをしっかりと胸に刻んでくれればありがたいです。

ここ最近の在校生の学校生活を見ていたら、少しずつ頼もしさや誇りを感じるが増え「任せて大丈夫！」という安心感も感じるようになりました。各学年、それぞれの思いを持って卒業式当日を迎えましょ。

真の才能とは、自分自身を信じることだ。 自分の力を信じることだ。

マクシム・ゴーリキー(作家)

鮮明な画像等は、ホームページでご覧ください。